

市立中央病院改革プラン2013 概要版

市立中央病院の現状

必要な常勤医師数の確保が困難なこともあり平成23年度決算において経常収支の均衡が図られなかった。

改定の趣旨

「公立病院改革ガイドライン」に基づき、今後も引き続き病院の再生と市民に安全安心な安定した医療を提供し、地域医療を確保していく事を目的として改革プランを改定しました。

基本的な考え方

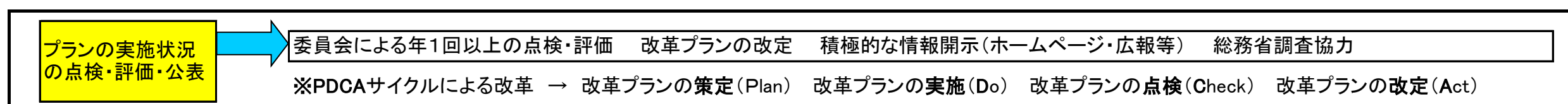
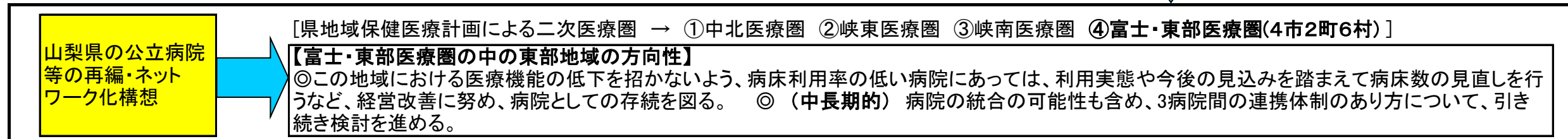
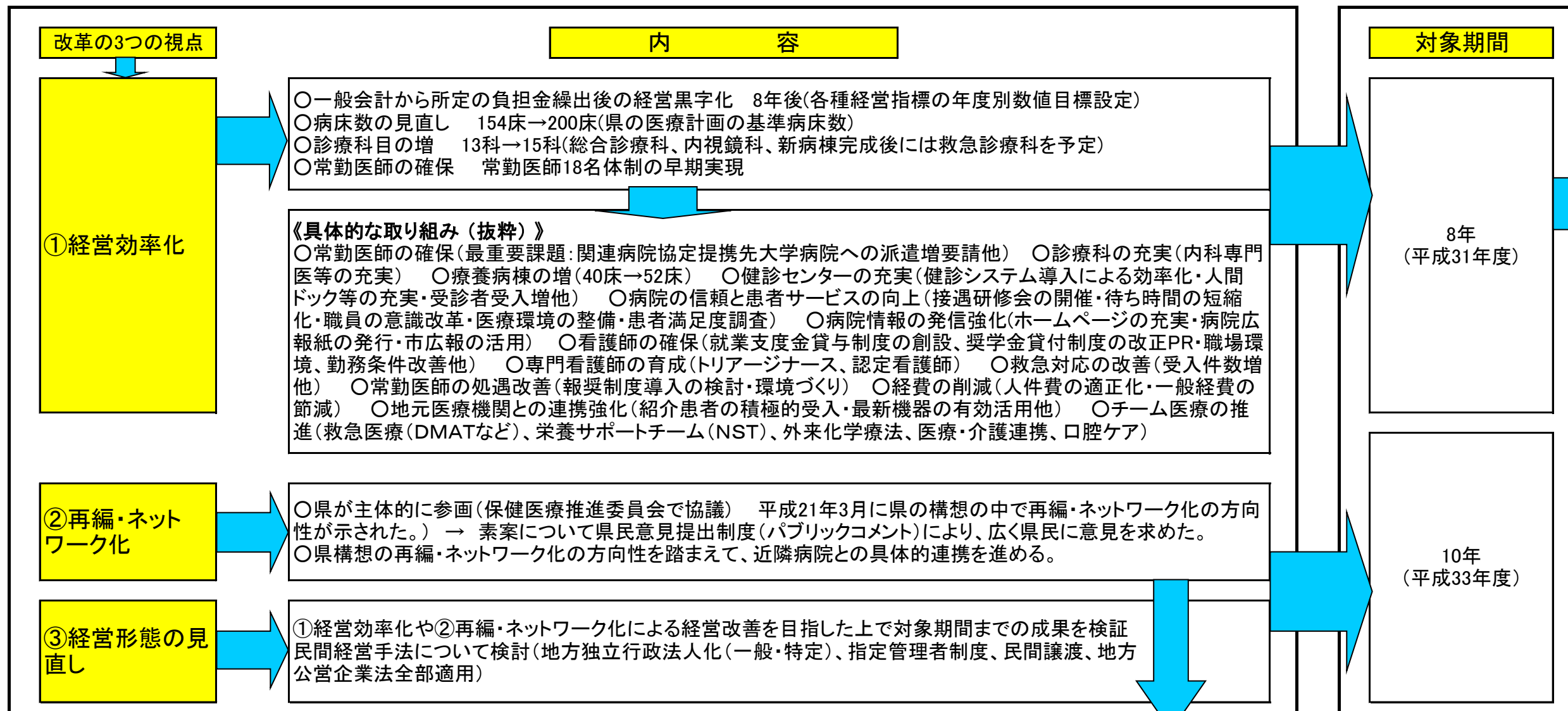
地域医療再生計画臨時交付金等を活用した新病棟建設等事業による病院再生に取り組み、①一般病院として存続させ地域医療を確保維持していく。②市の財政負担の軽減を図ります。

市立中央病院の役割 (★変更ありません。)

地域住民の医療を確保し、住民の健康保持のための公衆衛生活動等を行うことによって、地域住民の福祉の増進に資すること。①医学の進歩に対応した適正な医療の供給に心がけながら、一般医療のほか、開業医では対応することが困難と言われているへき地等の地域医療の確保向上、救急医療などの不採算医療及び専門的医療を積極的に推進し、安心で信頼される医療を効率的、継続的に提供する。②保健・福祉対策の中核としての役割(保健福祉施設との連携強化) ③地域の中核機能を持った医療機関としての役割(開業医との連携強化)

一般会計負担の考え方 (★変更ありません。)

病院を存続させ地域医療を確保していくため、「地方公営企業法」及び「自治体病院の経営原則」に基づき市の繰出基準に沿って一般会計負担を継続します。



年度別の主な数値目標

項目	年度	平成24年度	平成28年度	平成31年度
		(初年度)	(第5年度)	(第8年度)
病床数(床)	内訳	154床	200床	200床
	一般病床	110床	144床	144床
	療養病床	40床	52床	52床
	感染病床	4床	4床	4床
常勤医師数(年度末)		10人	16人	18人
1日平均患者数	入院	99人	116人	132人
		一般療養 74人	一般療養 88人	一般療養 102人
	外来	25人	28人	30人
		271人	350人	400人
病床利用率		64.1%	58.1%	66.1%
経常収支比率		97.9%	99.1%	100.3%
職員給与費比率 (非常勤医師賃金を除く)		57.7%	48.6%	47.8%
職員給与費比率 (非常勤医師賃金を含む)		71.7%	57.1%	54.6%
救急患者受入率		84.0%	88.0%	90.0%
健診受診者数		6,292人	7,253人	7,599人

年度別収支計画 (単位:千円)

区分	平成24年度	平成28年度	平成31年度
総収益	2,332,000	2,712,000	2,831,000
総費用	2,381,000	2,738,000	2,823,000
純損益	▲ 49,000	▲ 26,000	8,000
医業収益	1,932,000	2,459,000	2,577,000
医業費用	2,305,000	2,648,000	2,732,000

